

SpaceOAR™ および金マーカー留置による前立腺がん照射(20回)を始めました

当院では、2022年11月から、SpaceOAR™ および金マーカー留置による前立腺がん照射（寡分割照射20回）を開始しました。

通常の状態では前立腺に放射線治療を行うと、直腸に比較的高い線量の放射線があたる可能性があります。しかし、SpaceOAR を患者さんに留置した状態で、前立腺に照射することで、直腸と前立腺の距離を離すことができ、直腸にあたる放射線量を減らすことができます。副作用による直腸出血などのリスクを低減することに期待がもてます。

SpaceOAR とは、ハイドロゲルと呼ばれる合成吸収性材料のことで、直腸と前立腺の間に挿入することで、その距離を拡げ線量分布の改善に役立ちます。このハイドロゲルは注入後、約3ヶ月間維持され、その後約6ヶ月かけて体内に吸収されます。

また、当院では SpaceOAR の留置と同時に金マーカー(VISICOIL™)の留置も行っています。新放射線治療装置 Halcyon では照射する前に毎回 CT 画像を撮影し前立腺の位置の確認を行います。強度変調(回転)放射線治療 IMRT/VMAT は、ミリ単位の位置合わせの治療であるため、その際の位置照合の時間短縮や精度向上に役立ちます。

これらの留置により、通常分割では37～39回であった照射を1回線量の大きい寡分割照射（当院では20回）で安全に安心して行うことができます。医師の診察で留置適応となった患者さんには、1泊ほど入院をしていただき、泌尿器科医の手技のもと留置を行っています。

当院では、他の照射も含め、専門知識を有する経験豊富な医師、スタッフが担当しており、安心して放射線治療を受けていただいております。

